

## 業務仕様書

除雪ドーザ(8 t 級、車輪式、クイックカプラ式、反転エッジ付、  
サイドスライドアングリングプラウ付、ZW100-6 形)仕様書  
(2014 年規制対応)

## 除雪ドーザー仕様書（ZW100-6）仕様書

### 1. 総則

#### 1. 1 適用範囲

本仕様書は、琴浦町内における除雪作業に使用する除雪ドーザー（以下ドーザーという。）について規定する。

#### 1. 2 ドーザーの概要

ドーザーは下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、琴浦町内除雪作業仕様に耐えうる十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有し、保守点検及び整備が容易にできる構造とする。この仕様書に明示されている数値は標準の設計値とし、ここに明記されていない箇所については琴浦町（以下「発注者」という。）と物品供給人（以下「受注者」という。）が協議の上決定する。

#### 1. 3 適用基準等

##### 1.3.1 ドーザーの構造等

本仕様書に規定する以外の事項は「道路運送車両の保安基準」（昭和26年7月28日運輸省令第67号（以降改正分含む））及び「道路運送車両の保安基準にかかる技術基準」（昭和58年10月1日自車第899号（以降改正分を含む））に適合すること。ただし、適合しない部分がある場合は、発注者と協議すること。

##### 1.3.2 新規検査

ドーザーは、「道路運送車両法」（昭和26年法律第185号）の規定に適合し、新規検査を受け新規登録ができること。

##### 1.3.3 材料および部品

ドーザー製造において使用する材料および部品は、すべて新品であって日本工業規格（以下「JIS」という）に適合すること。ただし、JIS以外の規定に適合するものを使用する場合は、JISと比較対象するための関連外国規格又は類似外国規格等との比較表を提出して、発注者の承認を受けること。

#### 1. 4 納入に関する一般事項

1.4.1 納入時に発注者の関係者に対し、操作方法及び保守運営について十分な教育、訓練を行うこと。

1.4.2 本仕様書等を厳守し適切な管理を行うとともに、不明箇所について、発注者と十分調整を行うこと。

1.4.3 契約後速やかに本仕様書に基づいて生産工程表を作成し、発注者と詳細に協議すること。

1.4.4 改善の必要が認められる事項が発生した場合は、発注者と協議すること。

1.4.5 発注者の要求がある場合は、作業状況を報告すること。

1.4.6 本仕様書に疑義が生じた場合は、発注者と協議すること。

#### 1. 5 提出書類

- |     |             |     |
|-----|-------------|-----|
| (1) | 取扱説明書       | 2 部 |
| (2) | 部品カタログ      | 2 部 |
| (3) | 各種試験及び検査成績書 | 2 部 |
| (4) | 付属品及び予備品一覧表 | 2 部 |

#### 1. 6 納 入

1.6.1 納 期：令和 9 年 3 月 2 9 日（月）

納入場所：琴浦町大字松谷 5 6 4－1 8 3

琴浦町除雪車格納庫

台 数：1 台

1.6.2 納入場所までの輸送は、輸送保険付きとし、また、輸送中における性能の低下があってはならない。

#### 1. 7 特許権等に関する紛争の処理

ドーザーについて、特許権等に係る紛争を生じた場合は、受注者は発注者と協議し、受注者の責任と認められた場合は、すべて受注者の責任において速やかに処理すること。

## 2. 除雪ドーザー機械について

### 概 要

この仕様書は、除雪ドーザ(8 t 級、車輪式、クイックカプラ式、反転エッジ付、サイドスライドアングリングプラウ付、ZW100-6 形)に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和 26 年第 67 号(以降の改正分を含む)「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。

この仕様書に明示されている数値は標準の設計値とし、ここに明記されていない箇所については、支出負担行為担当官(以下「発注者」という)と、物品供給入(以下「受注者」という)が協議のうえ決定するものとする。

### 2. 1 形 式

8 t 級、車輪式、クイックカプラ式、反転エッジ付、  
サイドスライドアングリングプラウ付、Z W10 0-6 形

### 2. 2 性 能

除雪幅(30 ° アングリング時) 2,700 mm

除雪能力(プラウ排雪) 1,900t/h

除雪高さ 560 mm

走行速度

速度段		1	2
走行速度 (km/h)	前進	11.5	34.5
	後進	11.5	34.5

最大牽引力 58.1kN

登坂能力(tan9 ) 0.47

最小回転半径

最外輪中心 4.44m

除雪装置最外側部(プラウストレート時) 6.00m

### 騒音レベル

「騒音障害防止のためのガイドライン」(厚生労働省平成 4 年 10 月 1 日、基発第 546 号)第 I 管理区分に準ずる。(測定方法は JCMAS H011 の機械定置時による)

## 2. 3 主要諸元

全長(除雪装置地上、ストレート時)	7,270 mm
全長(除雪装置地上、30 度アングリング時)	7,930 mm
全幅(車体単体)	2,180 mm
全高(除雪装置地上、黄色回転灯上端まで)	3,380 mm
軸距	2,600 mm
軸距 (前)	1,725 mm
(後)	1,725 mm
最低地上高(フレーム下端まで)	365 mm
運転整備重量(乗車定員 2 人含む) {運転整備質量}	10,330 kg
乗車定員	2 人

## 2. 4 機 関

名称	ドイツ TCD3.6L4F 形ディーゼル機関
形式	4 サイクル水冷頭上弁直列直接噴射式, 排気ターボ過給機付
総行程容積	3.621 リットル
性能	
定格回転速度	2,000min <sup>-1</sup>
定格出力(ネット値)	71kW
最大トルク(1,600rpm におけるネット値)	400N・m
燃料消費率	221g/kW・h
充電発電機	24V 100A (AC)
始動電動機	24V 4.0Kw
蓄電池	12V70Ah (5 時間率) 2 個

## 2. 5 伝動装置

HST ポンプ	
HST モータ	
変速機	
形式	常時かみ合式(パワーシフト式)
変速段数	前進 2 段、後進 2 段
減速機および差動機	
形式	スパイラルかさ歯車式 2 段減速および直歯かさ歯車式
終減速機	
形式	遊星歯車式

## 2. 6 車軸および車輪

駆動形式	前後輪駆動式
動力伝達機構	リミテッドスリップデファレンシャル (LSD)
前車軸	フレーム固定形半浮動式
後車軸	トラニオン式半浮動式
タイヤ (前輪) (スノータイヤ)	17.5-25-12PR
タイヤ (後輪) (スノータイヤ)	17.5-25-12PR
かじ取り装置	
形 式	車体屈折式
かじ取り角度	40 度
ブレーキ装置	
主ブレーキ	前後輪別制動湿式ディスク全油圧式
駐車ブレーキ	副変速機出力軸制動湿式ディスク機械式

## 2. 7 除雪装置

形式	クイックカブラ式、反転エッジ付、 サイドスライドアングリングプラウ形油圧式
質量	2,210 kg
切刃最大地上高さ (ストレート時, 切刃下端)	3,150 mm
切刃最大切込深さ (ストレート時, 切刃下端)	240 mm
アングリング角度	左右各 30 度
サイドスライド量	左右各 350 mm
上昇速度 (機関定格回転速度において)	590mm/s
プラウ	
構 造	鋼板円筒曲面構造
全 幅 (ストレート時)	3,220 mm
全 高	1,020 mm
切 刃	ストレート形平形刃先 (JIS D6101)、19 mm 特殊鋼板
そり	
形 式	ネジ調整式, 長方形平形
個 数	2 個
長さ×幅	420 mm×200 mm

## 2. 8 油圧装置

油圧ポンプ	
形式及び個数	歯車式 1 個
吐 出 量	
除雪装置用及びかじ取り装置用 (20.6MPa、2,000rpm において)	107 リットル/min

## 操 作 弁

形式及び個数

5 連スプール式 1 個

電磁弁 1 式

## 作動位置

リフト用

上、中、下、浮の 4 位置

チルト(前後)用

前、中、後の 3 位置

アングリング用

右、中、左の 3 位置

サイドスライド用

右、中、左の 3 位置

クイックカプラ用

抜、中、挿の 3 位置

## 油圧シリンダ

形 式

複動式

## 2. 9 運転室

構 造

鋼板、全鋼製密閉形

運転席の位置

車体中央

扉

左右各 1

窓

前中、前左右→熱線入合わせガラス

側、後→強化ガラス

## 2. 10 運転装置

レバーおよびペダル類

かじ取りハンドル

1 式

変速及び前後進レバー

1 式

駐車ブレーキスイッチ

1 式

ブレーキペダル

2 式

アクセルペダル

1 式

リフト及びチルト(前後)レバー

1 式

アングリング及びサイドスライドレバー

1 式

クイックカプラ用スイッチ

1 式

## 計器類

運行記録計(45km/h、機関回転数記録、7 日計)

1 式

走行速度計

1 式

走行距離計

1 式

アワーメータ(電気式)

1 式

機関油圧警告灯

1 式

機関水温計

1 式

HST 油温計

1 式

電圧警告灯

1 式

燃料計(電気式)

1 式

## 照明装置類

前照灯	2 灯
前部作業灯(淡黄色)	2 灯
前方作業灯	2 灯
後方作業灯	2 灯
車幅灯	2 灯
前面方向指示器	2 灯
後面方向指示器	2 灯
尾灯、制動灯	2 灯
後退灯	2 灯
番号灯	1 灯
緩和表示灯	2 灯
室内灯	1 灯
計器灯	1 式
黄色灯火(散光式、点滅式、巾 1,130 mm)	1 式

## その他

警音器	1 組
ワイパー前部中央(電動式、スノーブレード付)	1 組
ワイパー前部左右(電動式、スノーブレード付)	2 組
ワイパー後部(電動式、スノーブレード付)	2 組
ウインドウオッシャ(電動式)	1 式
バックミラー	2 基
ルームミラー	2 基
アンダーミラー(後)	1 基
アンダーミラー(側左)	1 基

## 2. 11 水、油類の容量

冷却水	16 リットル
燃料	140 リットル
尿素水	17 リットル
機関潤滑油	10.5 リットル
変速機	8 リットル
減速機、差動機および終減速機	(前) 10 リットル (後) 10 リットル
作動油	50 リットル



## 2. 12 付属装置および付属品

バックブザー(音圧 80～100dB (A)、1m にて)	1 式
カーエアコン	1 式
カーラジオ	1 式
床マット(合成ゴム成形品)	1 式
非常信号用具(発煙筒 1、赤旗 1)	1 式
標識板(300×575mm、車体後部取付)	1 式
座席ベルト(運転席用、助手席用)	各 1
けん引装置(固定式)	1 式
バッテリーディスコネクトスイッチ	1 式
振動抑制装置(アキュームレータ式(ON-OFF 式))	1 式
タイヤチェーン(H 型)	1 式
スノーバケット(1.3 m <sup>3</sup> 、カプラ式)	1 式
標準付属工具	1 式
取扱説明書	1 部
部品表	1 部
履歴簿	1 部

## 2. 13 塗 装

国土交通省建設機械塗装基準による。

## 2. 14 検 査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであることを、その内訳が判る資料により検査する。検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

## 2. 15 保 証

納入後 1 箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が 1 箇年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

## 2. 16 その他の事項

### 2. 16. 1 製造期日等の指定

納入機は新品でなければならない。

### 2. 16. 2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

イ)黄色灯火の規格、取付位置については「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱いについて(昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号(以降の改正分を含む))」に準じるものとする。

ロ)黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

### 2. 16. 3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

### 2. 16. 4 緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届け出に付いては受注者が行うものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

## 2. 17 その他

本仕様書は計画仕様値であるため製作段階での多少の数値修正は許されるものとする。

(別表)

標準付属工具一覧表

品名	規格	数量	備考
工具袋		1	
スパナ	8×10 11×13 12×14 14×17 17×19 22×24	1組	
フィルター		1	尿素水用 ストレーナー付
ドライバ	＋、－差換式	1	
グリースガン	レバー式チューブ型 400g	1	チャックノズル式
片口ボックスレンチ	36	1	ハンドル付
点検中銘板		1	